放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和5　年　1　月　30日

公表：令和5年2月28日

事業所名　　放課後等デイサービスすみれe-class

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100		コロナ禍ということもありお子さん同士のスペースは気を付けています 椅子の高さ、テーブルの高さがお子さんによっては合わない場合工夫しながら配慮しています
	2	職員の配置数は適切である	100		支援の質の向上のために職員をもう一人配置したい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75	25	2階の施設で階段を使用するので介助が必要なお子さんの場合は職員が付き添いながら移動しています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100		PDCAサイクルについては心掛け職員全員参画しております
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100		保護者様からの評価について初回となり今後ご意見について改善、維持していきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100		ホームページに公表予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		100	現段階では行っていないが今後導入していくことも検討したい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100		1年間の研修計画をもとに定期的に研修を行っています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100		保護者様の要望をお聞きし、お子さんの気持ちも大切に計画を作成しております
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100		氷山シートの活用などお子さんの行動について表面下の分析をし対応しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100		支援の充実性のためをチームで行っています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100		固定化しないようにしています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100		平日、休校日の活動については提供時間も変動するのでお子さんが楽しくそしてその中で療育を取り入れられる内容を細かく設定しています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100		個別活動・集団活動を毎日活動の中に取り入れています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100		毎日、行っており予定とお子さんの状況をみて臨機応変に対応できるようにしています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100		当日できない時には翌日なこともあるが基本的に毎日 行っています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100		コロナ禍なので特に体温・手洗いの徹底を行い支援の内容について細かく記載・記録しております
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100		保護者様の方とは定期的にモニタリングを行い見直しをし現状に合った支援を行っています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100		自立支援に向けてガイドラインの総則を意識し活動に取り入れています
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100		管理者、児発管が出席しています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100		各学校の判断によりますが密に連絡調整を行っています

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		100	現在該当児なしとなりますが今度そのような場合は対応を整えるようにしたいです
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		100	保護者様からあり要望があった場合には行っています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		100	現段階では該当児はいませんが今後の対応について情報共有できるようにしておきたいです
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100		ケースによって定期的に連絡をとり助言を受けたり研修を受けています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		100	コロナ禍ということもあり難しいのが現状ですが機会があれば構築していきたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	100		管理者が委員となり参加しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100		連絡帳、送迎時の申し送り、メール等にて行っています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	75	25	事業所のみでは現段階では行っていませんが今後研修にて行えるようにしていきたいと思います
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100		契約時に説明しています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100		日々、相談があった際には助言をさせていただいております
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100	2023年に開催予定をしております
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100		苦情担当者を設置し適切な対応が出来るよう努めています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100		月に一度の通信を発行し活動内容を提示しております
	35	個人情報に十分注意している	100		個人情報の使用には事前に保護者様の許可をとっております
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100		そのように努めています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100	コロナ禍のため実施はしていないが地域のセンターを利用するなど地域の中での活動も取り入れています
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100		保護者様には契約時にお渡ししております 職員には日頃より適宜対応できるよう周知しております
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100		毎月行っております
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100		市の研修に管理者が参加し他施設との情報の交換を行っています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100		やむなく身体拘束という名のことが発生した場合には態様・時間等記入することになっております
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100		アレルギーの有無については契約時に記入していただいている 現在そのような事例はないが今度あれば対応していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100		虐待防止委員会の中で共有していくことになっています